

大日本護國軍西部日本國民大會狀況

- 一、日 時 昭和九年九月二日自午後七時半至同十時二十分
- 二、會 場 福岡市西中洲縣公會堂
- 三、主催者 大日本護國軍第六軍團（福岡）
- 四、參加者數 約八〇〇名
- 五、會場に掲げたスローガン
 - 政、經、軍の一元化による完全國防の確立
 - 農村經濟を再建せよ
 - 内政改革を速時斷行せよ
 - ワシントン條約の速時破棄通告を斷行
- 六、大會概要
 - 1、東方禮拜
 - 2、國歌合唱

3、司會者挨拶

來る可き一九三四年の重大危機を控へ如何にして之を突破すべきか、深く我等の立場を認識すると共に愛國の赤誠ある全福岡市民の熱血迸る宣言、決議を以て腐敗墮落したる國民の覺醒を促したい、時間の都合上佐世保鎮守府加藤大佐の講演を先にする。

講 演（要旨）佐世保海軍鎮守府軍醫普及部海軍大佐 加藤 正

私は政治、外交を批判したり論じたりするのではない、唯帝國海軍の實狀を話し來るべき非常時に動ぜざ覺悟を促したい。血を見る事のみが戦争ではない、刀を取らざる戦争がある、而してこの刀を取らざる戦争の勝敗には一般國民が甚だ無關心である事を恐れる、來年のワシントン會議に於て五、五、三の比率には絶對反對であつて吾が海軍は上下一致しそれに対する精